

学校名	石巻市立雄勝小学校
授業者	山口直美（1・2年複式担任） 齋藤卓弥（3・4年複式担任） 早坂峻（4年 TT） 齋藤咲花（5年担任） 阿部秀憲（教務主任兼特別支援学級担任）

1. 単元計画

1-1. 単元名

海を守る「しっかり見つめよう・考えよう」

1-2. 学年

全学年

1-3. 教科（単元を実施する教科を全てお書きください）

生活、社会、総合的な学習の時間

1-4. 単元の概要

<清掃活動>

- ・清掃活動を通して、漂着ゴミの種類や量など、海洋ゴミ問題に関心をもつ。【社会・総合】

<植樹活動>

- ・野外活動フィールドの松の木を伐採し新たにブナの森として育て守っていく活動を通して、森が海にもたらす恩恵を知り互いの関係性に気付く。【総合】

<放流活動>

- ・「全国豊かなうみづくり大会」の開催にあたり、ホシガレイの稚魚を放流する活動を通して、水産資源の保護や豊かな海を守っていくことの重要性に気付く。【理科・総合】

1-5. 単元設定の理由・ねらい

本校は雄勝半島全域が学区であり、学校前には砂浜や磯、近隣には漁港が点在している。地域産業である漁業従事者の他、漁業協同組合や伝統工芸品の雄勝硯組合に従事している方々も多い。また、無形文化財である雄勝法印神楽が浜祭り等で奉納されるなど、震災後も脈々と伝統芸能が継承されている。それら雄勝のよさの中でも特に海にこだわり、海をフィールドにした体験活動を通して、主体的で深い学び（探究活動）へと導くとともに、ふるさとを愛する心情を育むことをねらいとしている。

1-6. 育みたい資質や能力、態度

- ・海をフィールドにした体験活動（遊び）を通して、様々な問いや疑問が生まれ、探究的で深い学びへと発展すると期待できる。
- ・ふるさと雄勝の魅力やよさを実感することで雄勝を誇りに思う気持ちが醸成され、ふるさとを愛する心情が育まれると期待できる。
- ・身近な海を見る視点や感じる心が育つとともに、行動しようとする意欲の高まりに伴い、雄勝の海との関わりの中で自分が果たせる役割について考えようとする心情が醸成されると期待できる。

1-7. 単元の展開（全6時間）

時数	学習活動・主な内容	教師の指導 / 主な評価 / 外部連携 / 使用教材等
3	<p>清掃活動</p> <p>◇清掃活動を通して、漂着ゴミの種類や量など、海洋ゴミ問題に関心をもつ。</p> <p>◇関心をもったことについて各自調べる。</p> <p>①清掃活動を行う。</p> <p>②ゴミの種類や量などを調べ、どこから漂着したのか意見交換する。</p> <p>※ 今年度は「海洋プラスチック」について学習。</p> <p>③さらに関心をもったことについて各自調べる。（自主学习として実施）</p> 	<p>【活動時期】 6月～10月</p> <p>準備 軍手、ゴミ袋</p> <p>指導 分解されるゴミと分解されないゴミ、近隣から流れ着いたゴミと遠方から漂着したゴミなど、状況に応じて調べる観点を示し、意見交換を促す。</p> <p>評価 清掃活動を通して、漂着ゴミの種類や量など、海洋ゴミ問題に関心をもつことができたか。</p>  <div data-bbox="1251 672 1497 920" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>牡蠣養殖に関連して出るゴミ。宮城県内の各浜で多く見られる。以前は竹を使用していた。</p> </div>
1	<p>植樹活動</p> <p>◇野外活動フィールドの松を伐採し新たにブナの森として育て守っていく活動を通して、森が海にもたらす恩恵を知り互いの関係性について気付く。【総合】</p> <p>①森と海の関係について説明を聞く。</p> <p>②たてわり班ごとに木を植える。</p> <p>③活動を振り返る。（後片付け）</p> 	<p>【活動時期】 6月</p> <p>準備 軍手、スコップ、移植ベラ</p> <p>外部 宮城県東部地方振興事務所林業振興部</p> <p>指導 なぜ植樹するのか、植樹によってどんな良いことがあるか予想させた上で活動に入る。活動を振り返る際は、昨年度の地引網を思い出させ、魚がたくさん獲れた背景に森のはたらきが関係していたことに触れる。</p> <p>評価 植樹活動を通して、森が海にもたらす恩恵を知り互いの関係性に気付くことができたか。</p>

放流活動

【活動時期】 7月

◇「全国豊かな海づくり大会」の開催にあたり、ホシガレイの稚魚を放流する活動を通して、水産資源の保護や豊かな海を守っていくことの重要性に気付く。【理科・総合】

①放流活動について知る。

(講師：東部地方振興事務所水産漁業部職員)

②稚魚を受取り、各自放流を行う。

③活動を振り返る。(後片付け)

2



準備 サンダル等の濡れても良い履物、タオル

外部 全国豊かな海づくり大会推進室
宮城県東部地方振興事務所水産漁業部

指導 なぜ放流するのか、栽培漁業とは何か、学年の発達段階に応じて補足説明を行う。

評価 ホシガレイの稚魚を放流する活動を通して、水産資源の保護や豊かな海を守っていくことの重要性に気付くことができたか。



2. 学習活動の実際

2-1. 単元における位置づけ

単元 6 時間中の 3 時間目

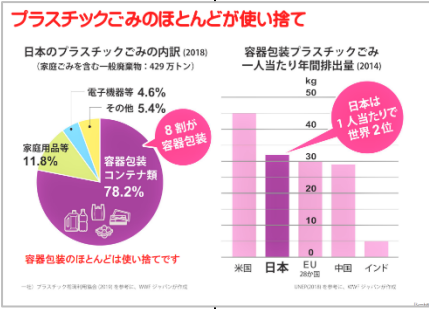
※例：単元 10 時間中の 2 時間目 / 単元 15 時間中の 4, 5 時間目

2-2. 本時の目標

○海洋プラスチックごみ問題について考える中で、環境保全についての関心を高め、郷土の海を守ろうとする心情を育てる。

2-3. 本時の展開

主な学習活動 / 反応	教師の指導・支援 / 評価の視点 (方法)
<p>1 プラスチックごみを見せ、何に使われていたか予想する。</p>  <p>2 正解を知る。</p> <p>3 プラスチックごみが環境に及ぼす影響について考える。</p> <p>① 生き物に与える影響</p> <p>② ごみの流れ</p> <p>③ マイクロプラスチックの問題点</p> <p>④ ごみの量</p> 	<p>※清掃の際に拾ったゴミの中からプラスチックごみを分別し用意していく。</p> <p>◇宮城県内の各浜で多く見られるゴミであることを伝える。</p> <p>◇短いパイプと長いパイプは、用途は同じだが使用時期が異なることを伝える。</p> <p>◇宮城県名産の牡蠣の養殖に関連するごみであることを伝える。</p> <p>◇以前は竹を使っていたことや、1つの筏につき24,000本のパイプが使われていることを伝える。</p> <p>◇資料を提示し紹介する。(資料参照)</p> <p>◇①と④については予想をノートに書かせるなど、資料の紹介で終わらないようにする。</p>
<p>4 自分たちにできることを考える。</p>	<p>◇ノートに書かせ、その後板書させる。自分以外の考えを視覚的にとらえさせる。</p>



私たちにできること

1. まず、リデュース(減らそう!)

マイバッグ
マイボトル

使い捨てアメニティ等を利用しない

2. ごみを拾おう!

3. 広げよう!

プラスチック削減に取り組みお励みください
プラスチックごみの問題を人に伝えよう

3. 今回の活動の自己評価

- ◎ 清掃・植樹・放流といった体験を通して、これらの活動がバラバラに行われているのではなく、「豊かな海を守る」という思いのもとで実施されていることに気付くことができた。と同時に、雄勝の魅力やよさを再確認することで、ふるさとを誇りに思う気持ちが高まった。
- ◎ 「海洋プラスチック」について調べる中で、漂着ゴミが身近な海だけでなく世界的な問題であることに気付き、自分たちが果たせる役割について考えを広げ深める姿が見られた。
- ▲ 植樹や放流などの活動は時間の経過に伴い関心や記憶が薄れてしまうため、関心を持続させたり高めさせたりする手立てが必要となる。

4. 今後の課題

- ・ 保護者や地域を対象とした発表会や、WEBページを利用した広報活動など、児童が学び得た気付きや学びを外へと発信する手立てや工夫について考えていきたい。
- ・ 環境への関心を持続させるためにも、植樹した樹木の観察やお世話など、日常的に関わることができるよう時間の設け方について考えていきたい。

5. 本学習内容報告書活用にあたっての留意点

- ・ 海での事故は命に直結することから、保護者や地域の方々による活動補助が必須となる。特に、海辺の活動時には、複数による監視体制の充実を図る必要がある。
- ・ 本校では、地元の漁業関係の皆様にご了承をいただいた上で学校前浜の活動を行っている。同様の活動をする際には、事前に活動場所（浜、港など）の使用について確認する必要があるので留意してほしい。

※実施した單元ごとに作成してください。

※写真、画像、図表等の使用可。必要に応じて記入欄やページ数を増やしても構いません。

※基本レイアウト

フォント：MS 明朝、10.5 ポイント / マージン：上下端 20mm、左右端 16mm

※ファイル名は「学習内容報告書_学校名」とし、複数提出する場合は学校名の後に数字を記載してください。

例：学習内容報告書_海洋市立パイオニア小学校 1

※年間指導計画（年間の指導計画における単元の位置づけが分かる資料）があれば別添資料として提出してください。フォーマットの指定はありません。